

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年前期	3	2	選択（教職必修）
担当教員			
西川 義晃			
添付ファイル			

講義概要	<p>法律学は法律の解釈・適用にかかわる学問であることはもちろんですが、それに止まりません。すなわち、法律学を学ぶ目的として「リーガルマインド」を養うことも挙げられます。「リーガルマインド」とは、大まかには、問題の所在・議論の対立する点を整理・分析し、その論点について根拠に基づき結論を導く能力といえます。</p> <p>本講義では、初回に、ガイダンスに加えて憲法の意義（憲法はなぜ存在するのか、憲法の役割は何か）について解説し、第3回まで法学入門に係る内容と憲法の導入的な内容を関連付けて講義します。4回目以降、憲法の各テーマについて講義をし、その際、多くの回で争点を取り上げ、賛否を整理しつつ講義をしていきます。これにより、憲法の意義を明らかにし、憲法に対する理解を深めるとともに、「リーガルマインド」の一端に触れていただくことを目的とします。</p> <p>※なお、本科目はオンライン開講（オンデマンド形式）を予定しています。オンライン講義に関する大学からの連絡に注意して下さい。</p>
授業計画	<p>1 回 憲法・法律学総論（1）憲法の意義 【内容】初回であることから本講義のガイダンスを行い、その後、講義を開始する。第1回は憲法の意義・法体系における位置づけを中心に講義する。 【準備学習】 ①シラバスで授業内容や到達目標、成績評価の方法などを確認すること。 ②テキストの「Mint Window」に目を通すこと。 【AL】本講義はオンデマンド形式で開講されるため、実施できない。以下、同様。</p> <p>2 回 憲法・法律学総論（2）法と道徳・わいせつ概念 【内容】法律・憲法の意義の理解を深めるために、憲法がかかわる法学の入門的な内容として、法と道徳との関係、わいせつ概念の問題を中心に講義する。わいせつ概念は表現の自由にかかわり、第14回で改めて解説する。 【準備学習】世間でモラルの問題とされる事柄（例えば、コロナ禍におけるマスク着用）に、どのような問題があるかを考える。</p> <p>3 回 憲法・法律学総論（3）法的安定性と集団的自衛権（平和主義・戦争放棄） 【内容】法の理念として具体的妥当性と法的安定性などの基礎的な概念や、要件と効果という法的な議論の前提について確認し、特に法的安定性に関連して「集団的自衛権」（憲法9条）を取り上げる。 【準備学習】テキストTheme15</p> <p>4 回 統治機構（1）国会の意義～二院制 【内容】立法権（国会）について概説し、特に二院制について講義する。その上で、二院制の是非について検討する。 【準備学習】テキストTheme16・Theme17</p> <p>5 回 統治機構（2）内閣の意義～首相公選制 【内容】行政権（内閣）について概説し、特に国会と内閣との関係、首相公選制について講義する。その上で、首相公選制の採用の是非について検討する。 【準備学習】テキストTheme18</p> <p>6 回 統治機構（3）三権分立と司法権・裁判制度 【内容】司法権の概要・裁判所の役割に関するYoutube動画の視聴を求める。その後、これらについて内容を確認・補足しながら講義をする。 【準備学習】テキストTheme19・Theme20</p> <p>7 回 統治機構（4）司法権と裁判への国民参加 【内容】法務省作成の裁判員制度に関する体験型教材を使用し、法務省作成の刑事事件をもとに、受講生が有罪・無罪の判定をする。 【準備学習】第6回の復習、テキストTheme19</p> <p>8 回 統治機構（5）地方自治の意義～条例制定権 【内容】憲法が定める地方自治の内容を解説するとともに、地方自治に欠かせない条例について解説する。その後、具体的な条例を示し、その条例の問題点について検討する。 【準備学習】テキストTheme21</p> <p>9 回 基本的人権の保障（1）人身の自由～適正手続きと死刑制度 【内容】この回から人権を扱う。まず、刑事手続き上の人権（人身の自由）について解説する。その後、死刑制度の是非について、憲法の観点から検討する。 【準備学習】テキストTheme13</p> <p>10 回 基本的人権の保障（2）幸福追求権・自己決定権～薬物規制 【内容】憲法が定める基本的人権の概要について解説したのち、いわゆる幸福追求権について解説し、これとの関係で自己決定権の位置づけについて学説の主張を整理する。さらに、薬物規制の是非について検討する。 【準備学習】テキストTheme1・Theme3・Theme4</p>

	<p>1 1 回 基本的人権の保障 (3) 新しい人権～嫌煙権・自己情報開示請求権 【内容】いわゆる幸福追求権との関係で新しい人権について検討する。特に、本講義が教職科目であることに鑑み、学校にも関連するものとして、いわゆる自己情報開示請求権 (指導要録) について、検討する。 【準備学習】第10回の復習、テキストTheme3・Theme4</p> <p>1 2 回 基本的人権の保障 (4) 法の下での平等～再婚禁止期間、夫婦別姓 【内容】憲法が定める法の下での平等の意義を講義し、近時の判例を紹介する (非嫡出子の相続分、女性の再婚禁止期間、選択的夫婦別氏制度など)。このうち、選択的夫婦別氏制度について、憲法の観点から検討する。 【準備学習】テキストTheme5・Theme6</p> <p>1 3 回 基本的人権の保障 (5) 思想・良心の自由～「日の丸・君が代訴訟」 【内容】憲法が定める内心の自由 (思想良心の自由、信教の自由) を講義し、近時の判例を紹介する (いわゆる「日の丸・君が代訴訟」)。判例の立場を明らかにしたうえで、この問題を検討する。 【準備学習】テキストTheme7</p> <p>1 4 回 基本的人権の保障 (6) 表現の自由～わいせつ物頒布罪 【内容】憲法が定める表現の自由について、意義、知る権利、検閲の禁止・通信の秘密の保護について概説する。その後、刑法175条 (わいせつ物頒布等) の合憲性について、検討する。 【準備学習】テキストTheme8・Theme9・Theme12</p> <p>1 5 回 基本的人権の保障 (7) 生存権～生活保護をめぐる問題 【内容】憲法が定める生存権の内容とその意義を学説に沿って講義するとともに、生存権をめぐる判例を紹介し、わが国における生存権の意義をより一層明らかにする。また、生活保護、子供や高齢者の貧困など、近時の社会的問題について考察する。 【準備学習】テキストTheme11</p>
授業形態	この講義はオンデマンド形式での開講が予定されています。Microsoft Streamに授業動画をアップし、授業当日、Active Academyから動画のURLと資料を配信します。動画を視聴したのち、各回提示する課題に解答して下さい。課題の解答はActive Academyのレポート機能によって提出して下さい。講義はこのようにオンデマンド形式となるため、アクティブラーニングは実施できません。
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法的な概念を理解できる (基礎)。 2. 憲法の意義を理解できる (基礎)。 3. 憲法上の基礎概念を理解できる (基礎)。 4. 憲法上の主要な論点を理解し、説明できる (応用)。 5. 重要論点や時事問題に関する憲法上の問題点を理解し、これに対する自らの意見を表明・論述できる (応用)。
評価方法・フィードバック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回提出を求めるレポート (100%) で評価します。 2. レポートについての注意事項:いわゆるcopy and paste (Plagiarism・剽窃) が認められる場合には本科目を不可とするほか、不正行為が行われたことを学務課に報告します。コピペルナーというコピペチェックソフトで検索します (http://www.ank.co.jp/works/products/copyelna/Client/index.html)。
評価基準	秀 (1～5) : 90点以上、優 (1～4) : 89～80点、良 (1～3) : 79～70点、可 (1～2) : 69～60点、不可 : 59点以下 カッコ () 内は、達成目標の項目を示す。
教科書・参考書	<p>教科書 : ①初宿正典ほか『いちばんやさしい憲法入門』有斐閣 ②『法学六法』信山社出版</p> <p>参考書 : ①尾崎哲夫『法律用語ハンドブック』自由国民社 ②三省堂編修所『デイリー法学用語辞典』三省堂 ③穴戸常寿ほか『18歳から考える人権』法律文化社</p> <p>※いずれも講義開始前における最新版が望ましい。参考書の①②は法律用語辞典のうち、安価なものです。テキストには指定しませんが、予復習に役立つため、いずれかの購入を勧めます。</p>
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・とくにありません。 ・このシラバスの内容をよく確認すること。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・配信する講義動画を定期的に視聴すること。 ・各回レポート課題を課します。忘れないように提出すること。その際、別の回のレポートを誤って提出しないよう注意すること。また、他の講義科目のレポートと取り違えることがないように注意すること。
準備学習と課題の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業動画の最後に、次回の授業で扱う内容について、テキストの関連箇所を明示します。事前にテキストの関連箇所に通し、意味のよくわからない専門用語を下調べするなど、1時間半を予習に充ててください。 ・授業動画の末尾で、授業内容のまとめをしますので、動画の視聴後、まとめの内容を中心に復習を行ってください。復習にも少なくとも1時間半を充てる必要があります。
ディプロマポリシーとの関連割合 (必須)	知識・理解 : 0%、思考・判断 : 25%、関心・意欲 : 25%、態度 : 25%、技能・表現 : 25% 理工学部ディプロマポリシー https://www.sist.ac.jp/about/policy.html (2021年1月9日アクセス)
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	